

徒然想

夢を忘れずに。ありふれた言葉かもしれませんが、ところが先月、ガンの治療後しばらくしてから別の部位への移転が見つかった闘病中のシンガーから、その言葉で締めくくるメッセージを受け取りました。夢っていったい何だったでしょう。時々立ち止まって振り返ってみるのも大切なことかもしれません。当社にとって、それは技術を通じて守る「人々の暮らしの安全」だったり「快適な社会と自然の維持」という事だったりします。歌の文句のようなきれいごとを並べるわけではありませんが、年を重ねるほど心のどこかで忘れずに持ち続けていなければならぬと感じます。夢を忘れずに。折しも激しい夕立の後、涼しい夏風と共に心に沁み込む言葉でした。

Technical Topics KRC技術情報

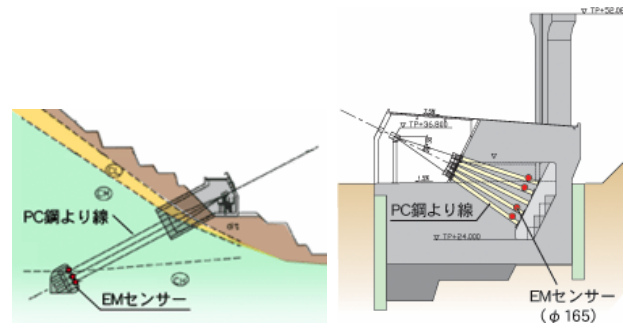
EMセンサーによる(仮称)豊島大橋ケーブル導入張力管理(続報)

本レポート24号において、EMセンサーによる(仮称)豊島大橋(広島県呉市、平成11年建設開始)のケーブル張力管理をレポートしました。その(仮称)豊島大橋がいよいよ本年11月に供用開始されます。

(仮称)豊島大橋は、単径間吊橋で、ケーブル定着方式は、本四連絡橋など多くの吊橋で採用されているアンカーフレーム方式とは異なり、PC鋼より線により、ケーブル張力をアンカレイジに伝えるPC定着方式を採用しています。さらに、蒲刈側1Aアンカレイジでは、日本で初めて岩着アンカレイジを採用しています。これは、抵抗体となる岩盤自体にプレストレスを導入し、岩盤の引き抜き耐力によりケーブルを支える構造です。

当社では、橋の架設工事に伴い、豊島側4Aアンカレイジ及び蒲刈側1Aアンカレイジにおいて、PC鋼より線の張力導入時にEMセンサーを設置し、張力管理を行いました。通常、このような張力測定を目的とする場合、ロードセルを使用しますが、EMセンサーは、直接的に鋼材の軸応力を測定することが可能であるため、実際の張力を把握しながら、施工を行うことができました。また、張力導入工事完了後は、PC鋼より線の張力管理のため、継続的に計測を行っています。

【詳細はこちら http://www.krcnet.co.jp/f_works03.htm】



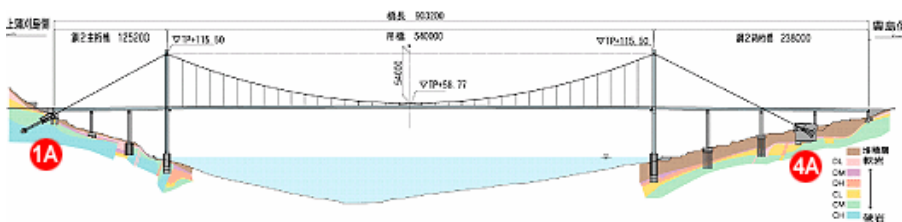
EMセンサー設置位置(左:1A、右:4Aアンカレイジ)



1Aアンカレイジ



4Aアンカレイジ



(仮称)豊島大橋側面図

※側面図は(仮称)豊島大橋ホームページより転載しています。



(仮称)豊島大橋

(株)計測リサーチコンサルタントへ問い合わせは、

電子メール: krc@krcnet.co.jp HP: <http://www.krcnet.co.jp/contact/contact.htm> で承っております。